

2022年度

四国防災・危機管理プログラム



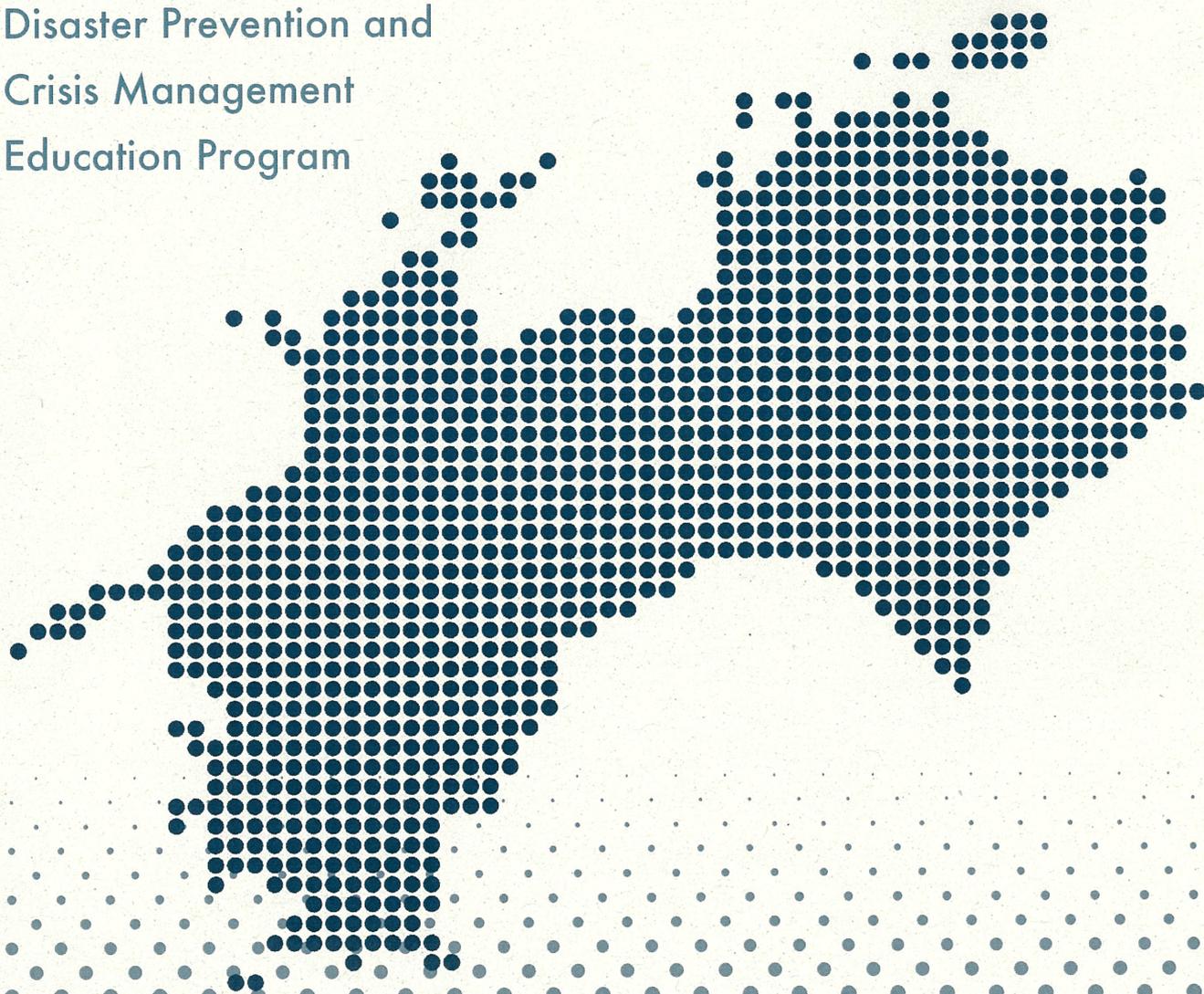
Brush up Program  
for professional

# 履修の手引き



SHIKOKU

Disaster Prevention and  
Crisis Management  
Education Program



# 目次

## 四国防災・危機管理プログラム 各コース概要

1. 制度の概要	1
(1) 目標	1
(2) 開設コース概要	1
2. 開設授業科目	2
3. 修了要件	2
4. 授業科目、単位数及び履修方法	3
(1) 履修について	3
(2) 時間割	3
(3) 単位認定及び学業成績	4
(4) 修了認定	4
5. 給付金制度について	4
6. 連携大学の所在地と問合せ先	4
別表1 四国防災・危機管理プログラム授業科目一覧	5

## 四国防災・危機管理プログラム授業科目 シラバス

共同実施基礎科目	6
行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群	10
行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群	12
実務演習科目	14



Brush up Program  
for professional

表紙のBPのロゴは、学び直したいと考える社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定した証です。詳しくは、文部科学省のHP [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/bp/](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/) をご覧ください。

# 四国防災・危機管理プログラム 各コース概要

## 1. 制度の概要

### (1) 目標

本事業は、東日本大震災を踏まえて、大規模広域災害やグローバル化する危機に対して適切に対応できる専門家の養成を目標としています。

南海トラフ巨大地震の発生が想定される中、香川大学と徳島大学は、「防災士養成講座」や「建設業BCP策定支援」等の連携実績、成果を活用して、香川県と徳島県の協力の下に新たなプログラムを開設し、社会が必要とする実践力を備えた防災・危機管理の専門家を養成します。

### (2) 開設コース概要

四国防災・危機管理プログラムで開設しているコースは次の2つです。

#### ① 行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コース（香川大学）

地域社会を構成する自治体・企業・医療機関等の地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP・MCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。

#### ② 行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース（徳島大学）

地域社会を構成する自治体・企業・地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。

平成26年度（第1期）～令和2年度（第7期）修了人数

分野	内 訳 (所属機関)		小 計	合 計
行政・企業	社会人	行 政	47名	162名
		企業など	44名	
	学 生	71名		
医 療	社 会 人	20名	22名	196名
	学 生	2名		
学 校	社 会 人	12名	12名	
	学 生	0名		

## 2. 開設授業科目

四国防災・危機管理プログラムの授業科目は、香川大学、徳島大学で4つの科目区分から編成されています。



科目区分	概要
共同実施基礎科目	各コース共通の修了要件科目で構成されています。
行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群 (香川大学)	行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コースの専門に応じた科目で構成されています。
行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群 (徳島大学)	行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コースの専門に応じた科目で構成されています。
実務演習科目	各コースにそれぞれ対応する実務演習科目で構成されています。

(注) 開講科目一覧は別表1のとおりです。

## 3. 修了要件

四国防災・危機管理プログラムの各コースを修了するためには、所定の単位を修得し、四国防災共同教育センターから修了認定を受ける必要があります。

各コースの修了要件は次のとおりです。

### ○行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コース修了要件 (香川大学)

共同実施基礎科目	行政・企業・医療防災・危機管理 マネージャー養成科目群	実務演習科目	合計
7単位	4単位	1単位	12単位

### ○行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース修了要件 (徳島大学)

共同実施基礎科目	行政・企業防災・危機管理 マネージャー養成科目群	実務演習科目	合計
7単位	4単位	1単位	12単位

## 4. 授業科目、単位数及び履修方法

「四国防災・危機管理プログラム」は、通常の大学における専攻とは異なり、各大学研究科・専攻科横断型のプログラムとして開講されます。コース修了によって各大学研究科・専攻科の修了となるものではありませんが、プログラムを修了することにより各コース内容に沿った専門知識を身につけることができます。また、四国防災共同教育センターからコース修了認定を受けることができます。

四国防災・危機管理プログラムには、2つのコースがあり、各コースの授業科目及びその単位数は、別表1のとおりです。これらの授業科目について、コース修了要件に沿って、履修し修得する必要があります。

### (1) 履修について

基本的にオンラインで授業を行いますので、大学に通学せず職場や自宅からの受講が可能となります。

ただし、1年次の防災・危機管理実習は、開講大学院又は外部施設まで来ていただく必要があります。

2年次の実務演習は指導教員と相談し、履修形態を決定します。

### (2) 時間割

#### 2022年度 四国防災・危機管理プログラム 授業時間割

##### ■ 1年次

開講学期	開講時間	月	火	水	木	金
		科目名	科目名	科目名	科目名	科目名
前期 (4月～8月) 16回	18:00 } 19:30	リスクコミュニケーション [P7]	危機管理学 [P8]			
後期 (10月～2月) 16回	18:00 } 19:30		災害と健康管理・メンタル ヘルスケア [P9] (徳島大学ではメンタルヘル スケアとして開設)	行政・企業・医療のリスク マネジメント [P11] 行政・企業のリスクマネジ メント [P12]		

後期 集中講義	防災・危機管理実習 [9P]	2日間 (宿泊を伴う場合があります)
---------	----------------	--------------------

##### ■ 2年次 (2021年度入学生)

開講学期	開講時間	月	火	水	木	金
		科目名	科目名	科目名	科目名	科目名
前期 (4月～8月) 16回	16:20 } 17:50	事業継続計画 (BCP・MCP) の策定と実 践 [P12] 事業継続計画 (BCP) の策 定と実践 [P13]				

後期 (10月～2月)	実務演習 科目	行政・企業防災・危機管理実務演習 [P15] 救急救命・災害医療実務演習 [P16]	指導教員と相談 指導教員と相談
----------------	------------	---	--------------------

※各講義の詳細は [ ] 内に記されたページを参照のこと。

※各コースで受講が必要な講義は5ページを参照のこと。

### (3) 単位認定及び学業成績

授業科目の修了の認定は、その授業科目についての出席状況が十分であると認めた学生について、筆記若しくは口頭による試験又はレポート等により行うものとし、それに合格した学生には、各大学大学院の基準により所定の単位を認定します。

### (4) 修了認定

修了認定は、学生が四国防災・危機管理プログラムに係る単位を履修により修得し、四国防災共同教育センターにおいて各コースの修了要件を満たしたと見なされた場合に修了を認定されます。

また、修了者には「災害・危機対応マネージャー<sup>®</sup>」の資格が与えられます。

## 5. 給付金制度について

行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コース（香川大学）、行政・企業防災危機管理マネージャー養成コース（徳島大学）は、厚生労働省の「教育訓練給付制度」の対象講座です。

一定の申請要件を満たしている受講生は、入学金と受講料の最大70%の給付金を受給することが出来ます。「教育訓練給付制度」の詳細は、厚生労働省のホームページや居住地のハローワークでご確認ください。

なお、給付金の申請手続きは、講座開始の1か月前までとなっておりますので、ご希望の方は早めに下記あてご相談ください。

## 6. 連携大学の所在地と問合せ先

### 【香川大学】

四国防災共同教育センター 事務局

〒761-0396 香川県高松市林町2217番地20

創造工学部 演習研究棟3F事務局

TEL (087) 864-2539

工学研究科 創造工学部事務課学務係

〒761-0396 香川県高松市林町2217番地20

TEL (087) 864-2015

医学系研究科 医学部学務課大学院・入学試験係

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750番地1

TEL (087) 891-2075

**【徳島大学】**

徳島大学環境防災研究センター

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

TEL (088) 656-8965

**【ホームページ】**

四国防災共同教育センター

<http://www.kagawa-u.ac.jp/dpec/>

**(別表1) 四国防災・危機管理プログラム授業科目一覧**

	区 分	科 目 名 称	単位数	開講年次	開講学期	曜日	シラバス No.	
行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー育成コース (香川大学)	共同実施基礎科目	リスクコミュニケーション	2	1	前期	月 18:00~	1	
		危機管理学	2	1	前期	火 18:00~	2	
		災害と健康管理・メンタルヘルスケア	2	1	後期	火 18:00~	3	
		防災・危機管理実習	1	1	後期	集中	4	
	行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群	行政・企業・医療のリスクマネジメント	2	1	後期	水 18:00~	5	
		事業継続計画 (BCP・MCP) の策定と実践	2	2	前期	月 16:20~	6	
	実務演習科目	(行政・企業分野) 行政・企業防災・危機管理実務演習	1	2	後期	指導教員と相談	9	
		(医療分野) 救命救急・災害医療実務演習	1	2	後期	指導教員と相談	10	
	行政・企業防災・危機管理マネージャー育成コース (徳島大学)	共同実施基礎科目	リスクコミュニケーション	2	1	前期	月 18:00~	1
			危機管理学	2	1	前期	火 18:00~	2
メンタルヘルスケア			2	1	後期	火 18:00~	3	
防災・危機管理実習			1	1	後期	集中	4	
行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群		行政・企業のリスクマネジメント	2	1	後期	水 18:00~	7	
		事業継続計画 (BCP) の策定と実践	2	2	前期	月 16:20~	8	
実務演習科目		行政・企業防災・危機管理実務演習	1	2	後期	指導教員と相談	9	

※シラバスに記載した授業計画等は変更になる場合があります。

# 四国防災・危機管理プログラム シラバス

No.1

## 共同実施基礎科目

科 目 名	リスクコミュニケーション（2単位）																																																		
担 当 教 員	湯浅恭史、金井純子（徳島大学）、 井面仁志、萩池昌信（香川大学）他	開講曜日等	1年次 前期 月 18:00~19:30																																																
授業概要及び授業計画																																																			
<p>■授業の目的</p> <p>リスクは不確実性をもっていることを踏まえ、リスクの捉え方と不確実性の評価、リスク情報とリスクに対する人びとの認知について学ぶ。それらを踏まえ、リスク対策の中でのリスクコミュニケーションの位置づけと多様な問題に言及し、課題事例等から考え方の理解を深める。</p> <p>■授業の概要</p> <p>本講義では、リスクは不確実性をもっていることを踏まえ、リスクの捉え方と不確実性の評価、リスク情報とリスクに対する人びとの認知について学ぶ。それらを踏まえ、リスク対策の中でのリスクコミュニケーションの位置づけと多様な問題に言及し、課題事例等から考え方の理解を深める。</p> <p>授業は、第2～7、9回は実務家教員や実務家を講師とする授業を、第10、12～16回は少人数によるグループディスカッションを実施する。</p> <p>■キーワード</p> <p>リスク、リスクコミュニケーション</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスクコミュニケーションとは何かについて理解する。</li> <li>2. リスクコミュニケーションの手法について理解する。</li> <li>3. リスクコミュニケーションの実践事例を学ぶ。</li> </ol> <p>■授業計画</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>リスクコミュニケーションとは何か</td> <td>井面 仁志</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>リスクコミュニケーションの技法① 聞く</td> <td>平石加奈子（フリーアナウンサー）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>リスクコミュニケーションの技法② 話す</td> <td>平石加奈子（フリーアナウンサー）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>リスクコミュニケーションの技法③ 伝える</td> <td>近藤 誠司（関西大学社会安全学部）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>リスクコミュニケーションの事例① 行政</td> <td>野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>リスクコミュニケーションの事例② 企業</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>リスクコミュニケーションの事例③ 医療機関</td> <td>萩池 昌信</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>リスクコミュニケーションの事例④ 教育機関</td> <td>中野 晋</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>コンセンサス① 合意形成手法（行政での事例）</td> <td>野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>コンセンサス② ワークショップ</td> <td>竹ノ内健介</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>クライシス① 危機広報の基本</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>クライシス② ワークショップ</td> <td>金井 純子</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>リスクコミュニケーションの設計演習①</td> <td>金井 純子・湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>リスクコミュニケーションの設計演習②</td> <td>金井 純子・湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>リスクコミュニケーションの設計演習③</td> <td>金井 純子・湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>設計演習発表会</td> <td>金井 純子・湯浅 恭史</td> </tr> </table>				1	リスクコミュニケーションとは何か	井面 仁志	2	リスクコミュニケーションの技法① 聞く	平石加奈子（フリーアナウンサー）	3	リスクコミュニケーションの技法② 話す	平石加奈子（フリーアナウンサー）	4	リスクコミュニケーションの技法③ 伝える	近藤 誠司（関西大学社会安全学部）	5	リスクコミュニケーションの事例① 行政	野本 粹浩	6	リスクコミュニケーションの事例② 企業	湯浅 恭史	7	リスクコミュニケーションの事例③ 医療機関	萩池 昌信	8	リスクコミュニケーションの事例④ 教育機関	中野 晋	9	コンセンサス① 合意形成手法（行政での事例）	野本 粹浩	10	コンセンサス② ワークショップ	竹ノ内健介	11	クライシス① 危機広報の基本	湯浅 恭史	12	クライシス② ワークショップ	金井 純子	13	リスクコミュニケーションの設計演習①	金井 純子・湯浅 恭史	14	リスクコミュニケーションの設計演習②	金井 純子・湯浅 恭史	15	リスクコミュニケーションの設計演習③	金井 純子・湯浅 恭史	16	設計演習発表会	金井 純子・湯浅 恭史
1	リスクコミュニケーションとは何か	井面 仁志																																																	
2	リスクコミュニケーションの技法① 聞く	平石加奈子（フリーアナウンサー）																																																	
3	リスクコミュニケーションの技法② 話す	平石加奈子（フリーアナウンサー）																																																	
4	リスクコミュニケーションの技法③ 伝える	近藤 誠司（関西大学社会安全学部）																																																	
5	リスクコミュニケーションの事例① 行政	野本 粹浩																																																	
6	リスクコミュニケーションの事例② 企業	湯浅 恭史																																																	
7	リスクコミュニケーションの事例③ 医療機関	萩池 昌信																																																	
8	リスクコミュニケーションの事例④ 教育機関	中野 晋																																																	
9	コンセンサス① 合意形成手法（行政での事例）	野本 粹浩																																																	
10	コンセンサス② ワークショップ	竹ノ内健介																																																	
11	クライシス① 危機広報の基本	湯浅 恭史																																																	
12	クライシス② ワークショップ	金井 純子																																																	
13	リスクコミュニケーションの設計演習①	金井 純子・湯浅 恭史																																																	
14	リスクコミュニケーションの設計演習②	金井 純子・湯浅 恭史																																																	
15	リスクコミュニケーションの設計演習③	金井 純子・湯浅 恭史																																																	
16	設計演習発表会	金井 純子・湯浅 恭史																																																	

## 共同実施基礎科目

科 目 名	危機管理学（2単位）																																																		
担 当 教 員	白木渡（香川大学）、上月康則（徳島大学）他	開講曜日等	1年次 前期 火 18：00～19：30																																																
授業概要及び授業計画																																																			
<p>■授業の目的</p> <p>危機管理（クライシスマネジメント）とは、危機を予防・回避し、災害に至った場合に損害を少なくするための措置をいい、これを実現するための学問を危機管理学という。ここでは危機管理のための基本的知識や手法を習得することを目的とする。</p> <p>■授業の概要</p> <p>本講義では、自然災害や人為的な事故等により国家、社会、組織、個人が致命的な状況に至ることを回避・予防し、万が一被災した場合にも被害を最小限に止めるために必要な計画、行動基準等の策定方法や被災事例を事前対策に反映する手法について学ぶ。</p> <p>授業は、第3、7、9～13回は実務家教員や実務家を講師とする授業を、第5、6、8、12回は少人数によるグループディスカッションを実施する。</p> <p>■キーワード</p> <p>危機管理、クライシスマネジメント、危機の回避・予防、減災</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 危機管理の基礎知識を習得するとともに危機管理の手法について理解する。</li> <li>2. 危機管理の実践事例を学ぶ。</li> </ol> <p>■授業計画</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション／危機管理の枠組み</td> <td>白木 渡</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>防災減災学概論</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>危機管理と法体系</td> <td>野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>大地の成り立ちから考える危機管理</td> <td>野々村敦子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>災害事例と危機管理（1）－ 自然災害と危機管理 －</td> <td>上月 康則</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>災害事例と危機管理（2）－ 環境災害と危機管理 －</td> <td>上月 康則</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>災害事例と危機管理（3）－ 災害医療と危機管理 －</td> <td>萩池 昌信</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>災害事例と危機管理（4）－ 産業災害と危機管理 －</td> <td>梶谷 義雄</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>災害事例と危機管理（4）－ 自衛隊の危機管理 －</td> <td>自衛隊香川地方協力本部</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>災害時のボランティア活動</td> <td>高橋 真里</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>災害後に起こる心身の変化と対応</td> <td>内海 千種</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>民間企業の事業継続計画</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>地方自治体の業務継続計画</td> <td>徳永 雅彦</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>災害時の教育継続計画（ECP）</td> <td>中野 晋</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>社会福祉施設の業務継続計画</td> <td>金井 純子</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>課題発表とレポート提出</td> <td>白木 渡、上月 康則</td> </tr> </table>				1	オリエンテーション／危機管理の枠組み	白木 渡	2	防災減災学概論		3	危機管理と法体系	野本 粹浩	4	大地の成り立ちから考える危機管理	野々村敦子	5	災害事例と危機管理（1）－ 自然災害と危機管理 －	上月 康則	6	災害事例と危機管理（2）－ 環境災害と危機管理 －	上月 康則	7	災害事例と危機管理（3）－ 災害医療と危機管理 －	萩池 昌信	8	災害事例と危機管理（4）－ 産業災害と危機管理 －	梶谷 義雄	9	災害事例と危機管理（4）－ 自衛隊の危機管理 －	自衛隊香川地方協力本部	10	災害時のボランティア活動	高橋 真里	11	災害後に起こる心身の変化と対応	内海 千種	12	民間企業の事業継続計画	湯浅 恭史	13	地方自治体の業務継続計画	徳永 雅彦	14	災害時の教育継続計画（ECP）	中野 晋	15	社会福祉施設の業務継続計画	金井 純子	16	課題発表とレポート提出	白木 渡、上月 康則
1	オリエンテーション／危機管理の枠組み	白木 渡																																																	
2	防災減災学概論																																																		
3	危機管理と法体系	野本 粹浩																																																	
4	大地の成り立ちから考える危機管理	野々村敦子																																																	
5	災害事例と危機管理（1）－ 自然災害と危機管理 －	上月 康則																																																	
6	災害事例と危機管理（2）－ 環境災害と危機管理 －	上月 康則																																																	
7	災害事例と危機管理（3）－ 災害医療と危機管理 －	萩池 昌信																																																	
8	災害事例と危機管理（4）－ 産業災害と危機管理 －	梶谷 義雄																																																	
9	災害事例と危機管理（4）－ 自衛隊の危機管理 －	自衛隊香川地方協力本部																																																	
10	災害時のボランティア活動	高橋 真里																																																	
11	災害後に起こる心身の変化と対応	内海 千種																																																	
12	民間企業の事業継続計画	湯浅 恭史																																																	
13	地方自治体の業務継続計画	徳永 雅彦																																																	
14	災害時の教育継続計画（ECP）	中野 晋																																																	
15	社会福祉施設の業務継続計画	金井 純子																																																	
16	課題発表とレポート提出	白木 渡、上月 康則																																																	

## 共同実施基礎科目

科目名	災害と健康管理・メンタルヘルスケア（2単位） （徳島大学ではメンタルヘルスケアとして開設）																																		
担当教員	黒田泰弘、平尾智広（香川大学）他	開講曜日等	1年次 後期 火 18：00～19：30																																
授業概要及び授業計画																																			
<p>■授業の目的 災害対策に携わる全ての人が身につけるべき、災害医療、健康管理、衛生管理及びメンタルヘルスケアの基礎を習得する。</p> <p>■授業の概要 災害医療、健康管理、衛生管理の基本的知識を学ぶ。またメンタルヘルスケアの知識及び実践の基本について学ぶ。PFA（サイコロジカル・ファースト・エイド）研修では、災害支援に役立つ心のケアについても習得する。</p> <p>授業は、実務家教員や実務家を講師とする授業を中心とし、第11～13回は少人数によるグループディスカッションを実施する。日常や災害時の健康問題をテーマとした課題発表・レポート作成を行う。</p> <p>■キーワード 災害医療、健康管理、衛生管理、避難所、メンタルヘルスケア</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害医療の基礎を理解する。</li> <li>2. 災害時の健康管理、衛生管理の基礎を理解する。</li> <li>3. 災害時のメンタル・ヘルス・ケアの方法及び実践について理解する。</li> </ol> <p>■授業計画（医療の緊急事態により、講義の予定や内容は変更される場合があります）</p> <table border="0"> <tr><td>1 災害医療総論</td><td>黒田 泰弘</td></tr> <tr><td>2 災害時の健康管理（1）</td><td>平尾 智広</td></tr> <tr><td>3 災害時の健康管理（2）</td><td>平尾 智広</td></tr> <tr><td>4 災害時の健康管理（3）</td><td>平尾 智広</td></tr> <tr><td>5 災害時の健康管理（4）</td><td>平尾 智広</td></tr> <tr><td>6 課題（1）</td><td>平尾 智広</td></tr> <tr><td>7 災害弱者</td><td>川内 敦文（高知県健康政策部健康対策課）</td></tr> <tr><td>8 特殊危険物質、環境保健</td><td>西山 隆（自衛隊中央病院）</td></tr> <tr><td>9 高齢者</td><td>小早川義貴（災害医療センター）</td></tr> <tr><td>10 避難所の衛生・環境管理</td><td>中瀬 克己（吉備国際大学）</td></tr> <tr><td>11 メンタルヘルスケア（1）PFA研修</td><td>平尾 智広 他</td></tr> <tr><td>12 メンタルヘルスケア（2）PFA研修</td><td>平尾 智広 他</td></tr> <tr><td>13 メンタルヘルスケア（3）PFA研修</td><td>平尾 智広 他</td></tr> <tr><td>14 課題（2）</td><td>平尾 智広</td></tr> <tr><td>15 災害医療の実際</td><td>近藤 久禎（災害医療センター）</td></tr> <tr><td>16 総合討論</td><td>萩池 昌信</td></tr> </table>				1 災害医療総論	黒田 泰弘	2 災害時の健康管理（1）	平尾 智広	3 災害時の健康管理（2）	平尾 智広	4 災害時の健康管理（3）	平尾 智広	5 災害時の健康管理（4）	平尾 智広	6 課題（1）	平尾 智広	7 災害弱者	川内 敦文（高知県健康政策部健康対策課）	8 特殊危険物質、環境保健	西山 隆（自衛隊中央病院）	9 高齢者	小早川義貴（災害医療センター）	10 避難所の衛生・環境管理	中瀬 克己（吉備国際大学）	11 メンタルヘルスケア（1）PFA研修	平尾 智広 他	12 メンタルヘルスケア（2）PFA研修	平尾 智広 他	13 メンタルヘルスケア（3）PFA研修	平尾 智広 他	14 課題（2）	平尾 智広	15 災害医療の実際	近藤 久禎（災害医療センター）	16 総合討論	萩池 昌信
1 災害医療総論	黒田 泰弘																																		
2 災害時の健康管理（1）	平尾 智広																																		
3 災害時の健康管理（2）	平尾 智広																																		
4 災害時の健康管理（3）	平尾 智広																																		
5 災害時の健康管理（4）	平尾 智広																																		
6 課題（1）	平尾 智広																																		
7 災害弱者	川内 敦文（高知県健康政策部健康対策課）																																		
8 特殊危険物質、環境保健	西山 隆（自衛隊中央病院）																																		
9 高齢者	小早川義貴（災害医療センター）																																		
10 避難所の衛生・環境管理	中瀬 克己（吉備国際大学）																																		
11 メンタルヘルスケア（1）PFA研修	平尾 智広 他																																		
12 メンタルヘルスケア（2）PFA研修	平尾 智広 他																																		
13 メンタルヘルスケア（3）PFA研修	平尾 智広 他																																		
14 課題（2）	平尾 智広																																		
15 災害医療の実際	近藤 久禎（災害医療センター）																																		
16 総合討論	萩池 昌信																																		

## 共同実施基礎科目

科目名	防災・危機管理実習（1単位）		
担当教員	野本粹浩、萩池昌信（香川大学）、 湯浅恭史、蒋景彩（徳島大学）他	開講曜日等	1年次 後期集中
授業概要及び授業計画			
<p>■授業の目的</p> <p>四国防災・危機管理プログラムで開講される「学校防災・危機管理マネージャー」、「行政・企業防災・危機管理マネージャー」「行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー」のサブプログラムに共通な基礎的な能力を、実習を通して修得する。</p> <p>■授業の概要</p> <p>危機管理に関する机上演習、現場訓練を通して危機管理マネージャーに必要な能力を修得する。</p> <p>全ての授業は、実務家教員や実務家が講師を務め、少人数によるグループディスカッションにより実施する。</p> <p>■キーワード</p> <p>危機管理、机上訓練、現場訓練</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 机上訓練を通して、防災・危機管理の実務能力を得る。</li> <li>2. 集団現場訓練を通して、防災・危機管理の実務能力を得る。</li> </ol> <p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 実務演習目的の決定</li> <li>3 基礎調査①</li> <li>4 基礎調査②</li> <li>5 基礎調査③</li> <li>6 実務演習内容の概要計画</li> <li>7 実務演習内容の詳細計画</li> <li>8 中間発表</li> <li>9 実務演習①</li> <li>10 実務演習②</li> <li>11 実務演習③</li> <li>12 実務演習④</li> <li>13 実務演習⑤</li> <li>14 実務演習⑥</li> <li>15 実務演習⑦</li> <li>16 成果発表会</li> </ol>			

## 行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群

科目名	行政・企業・医療のリスクマネジメント（2単位）																																		
担当教員	湯浅恭史（徳島大学）、 平尾智広、梶谷義雄（香川大学）他	開講曜日等	1年次 後期 水 18：00～19：30																																
授業概要及び授業計画																																			
<p>■授業の目的</p> <p>行政、企業、医療をとりまく種々のリスクについて基礎的知識を習得した上で、主として自然災害リスクに対するマネジメントの方法について理解する。</p> <p>■授業の概要</p> <p>自治体や企業、医療機関の活動を行う上で、認識すべきリスクについて概説した後、わが国で多発している大規模災害への備えや応急・復旧対応の方法について事例を交えて説明する。</p> <p>授業は、第1、4、5、8、10～16回は実務家教員や実務家を講師とする授業を実施する。</p> <p>■キーワード</p> <p>自治体、企業、医療機関、リスクマネジメント、BCP、MCP</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政や企業、医療機関が活動を行う上で認識すべきリスクについて理解する。</li> <li>2. 行政や企業、医療機関が災害前に実施すべき防災・減災の方法や災害対応に関する理論や技術を修得する。</li> </ol> <p>■授業計画</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1 ガイダンス/リスクマネジメントの必要性</td> <td>湯浅 恭史、野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>2 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み</td> <td>中野 晋</td> </tr> <tr> <td>3 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み</td> <td>平尾 智広</td> </tr> <tr> <td>4 行政における危機管理－政策的規制の変化対応－</td> <td>非常勤講師（香川県危機管理課）</td> </tr> <tr> <td>5 行政における災害対応体制と情報共有戦略</td> <td>非常勤講師（徳島県危機管理政策課）</td> </tr> <tr> <td>6 応急・復旧対応の内容と方法</td> <td>梶谷 義雄</td> </tr> <tr> <td>7 復興プロセスの枠組みと復興支援施策</td> <td>梶谷 義雄</td> </tr> <tr> <td>8 災害医療における現場対応と情報共有戦略</td> <td>黒田 泰弘</td> </tr> <tr> <td>9 感染症に対するリスクマネジメント</td> <td>平尾 智広</td> </tr> <tr> <td>10 総合討論1</td> <td>湯浅 恭史、藤澤 一仁、 野本 粹浩、梶谷 義雄</td> </tr> <tr> <td>11 企業のリスクマネジメントとその枠組み</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>12 企業経営におけるリスクとその対応</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>13 事例からみるリスクマネジメントと危機管理</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>14 建設業、社会福祉施設におけるリスクマネジメントとBCP</td> <td>湯浅 恭史、金井 純子、 非常勤講師（建設会社、社会福祉施設などからの実務家）</td> </tr> <tr> <td>15 自然災害に対するリスクマネジメント</td> <td>藤目 浩二</td> </tr> <tr> <td>16 総合討論2</td> <td>湯浅 恭史、藤目 浩二、 野本 粹浩</td> </tr> </table>				1 ガイダンス/リスクマネジメントの必要性	湯浅 恭史、野本 粹浩	2 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み	中野 晋	3 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み	平尾 智広	4 行政における危機管理－政策的規制の変化対応－	非常勤講師（香川県危機管理課）	5 行政における災害対応体制と情報共有戦略	非常勤講師（徳島県危機管理政策課）	6 応急・復旧対応の内容と方法	梶谷 義雄	7 復興プロセスの枠組みと復興支援施策	梶谷 義雄	8 災害医療における現場対応と情報共有戦略	黒田 泰弘	9 感染症に対するリスクマネジメント	平尾 智広	10 総合討論1	湯浅 恭史、藤澤 一仁、 野本 粹浩、梶谷 義雄	11 企業のリスクマネジメントとその枠組み	湯浅 恭史	12 企業経営におけるリスクとその対応	湯浅 恭史	13 事例からみるリスクマネジメントと危機管理	湯浅 恭史	14 建設業、社会福祉施設におけるリスクマネジメントとBCP	湯浅 恭史、金井 純子、 非常勤講師（建設会社、社会福祉施設などからの実務家）	15 自然災害に対するリスクマネジメント	藤目 浩二	16 総合討論2	湯浅 恭史、藤目 浩二、 野本 粹浩
1 ガイダンス/リスクマネジメントの必要性	湯浅 恭史、野本 粹浩																																		
2 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み	中野 晋																																		
3 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み	平尾 智広																																		
4 行政における危機管理－政策的規制の変化対応－	非常勤講師（香川県危機管理課）																																		
5 行政における災害対応体制と情報共有戦略	非常勤講師（徳島県危機管理政策課）																																		
6 応急・復旧対応の内容と方法	梶谷 義雄																																		
7 復興プロセスの枠組みと復興支援施策	梶谷 義雄																																		
8 災害医療における現場対応と情報共有戦略	黒田 泰弘																																		
9 感染症に対するリスクマネジメント	平尾 智広																																		
10 総合討論1	湯浅 恭史、藤澤 一仁、 野本 粹浩、梶谷 義雄																																		
11 企業のリスクマネジメントとその枠組み	湯浅 恭史																																		
12 企業経営におけるリスクとその対応	湯浅 恭史																																		
13 事例からみるリスクマネジメントと危機管理	湯浅 恭史																																		
14 建設業、社会福祉施設におけるリスクマネジメントとBCP	湯浅 恭史、金井 純子、 非常勤講師（建設会社、社会福祉施設などからの実務家）																																		
15 自然災害に対するリスクマネジメント	藤目 浩二																																		
16 総合討論2	湯浅 恭史、藤目 浩二、 野本 粹浩																																		

## 行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群

科目名	事業継続計画（BCP・MCP）の策定と実践（2単位）																																		
担当教員	湯浅恭史（徳島大学）、 磯打千雅子、野本粹浩（香川大学）他	開講曜日等	2年次 前期 月 16：20～17：50																																
授業概要及び授業計画																																			
<p>■授業の目的</p> <p>自治体の業務継続計画及び企業（医療機関を含む）の事業継続計画の策定方法を理解し、自らBCPの策定ができる能力を修得する。</p> <p>■授業の概要</p> <p>BCPに関する基本的な考え方を詳述するとともに、自治体の業務継続計画と企業（医療機関を含む）の事業継続計画の策定方法について実務能力を持たせることを念頭に講述する。</p> <p>授業は、第1、3～16回は実務家教員を講師とする授業を、第5～16回は少人数によるグループディスカッションを実施する。</p> <p>■キーワード</p> <p>自治体防災、企業防災、災害医療、BCP、MCP</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自治体の業務継続計画の策定方法が理解できる。</li> <li>2. 企業（医療機関を含む）の事業継続計画の策定方法が理解できる。</li> </ol> <p>■授業計画</p> <table border="0"> <tr> <td>1 ガイダンス/講義の進め方</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子</td> </tr> <tr> <td>2 地方自治体における事業継続</td> <td>中野 晋</td> </tr> <tr> <td>3 医療機関の事業継続（MCP）</td> <td>萩池 昌信</td> </tr> <tr> <td>4 修了生によるBCP事例紹介</td> <td>野本 粹浩、非常勤講師（修了生）</td> </tr> <tr> <td>5 事業継続戦略・対策の検討</td> <td>磯打千雅子</td> </tr> <tr> <td>6 外部環境と内部環境の理解</td> <td>磯打千雅子</td> </tr> <tr> <td>7 ビジネスインパクト分析</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>8 事業継続戦略・対策の検討と決定</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>9 教育・訓練</td> <td>磯打千雅子</td> </tr> <tr> <td>10 事前対策と見直し・改善</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>11 演習の進め方/演習①</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子</td> </tr> <tr> <td>12 演習②</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>13 演習③</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>14 演習④</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>15 演習⑤</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>16 発表①</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩</td> </tr> </table>				1 ガイダンス/講義の進め方	湯浅 恭史・磯打千雅子	2 地方自治体における事業継続	中野 晋	3 医療機関の事業継続（MCP）	萩池 昌信	4 修了生によるBCP事例紹介	野本 粹浩、非常勤講師（修了生）	5 事業継続戦略・対策の検討	磯打千雅子	6 外部環境と内部環境の理解	磯打千雅子	7 ビジネスインパクト分析	湯浅 恭史	8 事業継続戦略・対策の検討と決定	湯浅 恭史	9 教育・訓練	磯打千雅子	10 事前対策と見直し・改善	湯浅 恭史	11 演習の進め方/演習①	湯浅 恭史・磯打千雅子	12 演習②	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩	13 演習③	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩	14 演習④	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩	15 演習⑤	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩	16 発表①	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩
1 ガイダンス/講義の進め方	湯浅 恭史・磯打千雅子																																		
2 地方自治体における事業継続	中野 晋																																		
3 医療機関の事業継続（MCP）	萩池 昌信																																		
4 修了生によるBCP事例紹介	野本 粹浩、非常勤講師（修了生）																																		
5 事業継続戦略・対策の検討	磯打千雅子																																		
6 外部環境と内部環境の理解	磯打千雅子																																		
7 ビジネスインパクト分析	湯浅 恭史																																		
8 事業継続戦略・対策の検討と決定	湯浅 恭史																																		
9 教育・訓練	磯打千雅子																																		
10 事前対策と見直し・改善	湯浅 恭史																																		
11 演習の進め方/演習①	湯浅 恭史・磯打千雅子																																		
12 演習②	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩																																		
13 演習③	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩																																		
14 演習④	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩																																		
15 演習⑤	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩																																		
16 発表①	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩																																		

## 行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群

科 目 名	行政・企業のリスクマネジメント（2単位）																																		
担 当 教 員	湯浅恭史（徳島大学）、 平尾智広、梶谷義雄（香川大学）他	開講曜日等	1年次 後期 水 18：00～19：30																																
授業概要及び授業計画																																			
<p>■授業の目的</p> <p>行政及び企業をとりまく種々のリスクについて基礎的知識を習得した上で、主として自然災害リスクに対するマネジメントの方法について理解する。</p> <p>■授業の概要</p> <p>自治体、企業、医療機関等の活動を行う上で、認識すべきリスクについて概説した後、わが国で多発している大規模災害への備えや応急・復旧対応の方法について事例を交えて説明する。</p> <p>授業は、第1、4、5、7、8、10～16回は実務家教員や実務家を講師とする授業を実施する。</p> <p>■キーワード</p> <p>自治体、企業、医療機関、社会福祉施設、リスクマネジメント、BCP</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政、企業、医療機関等が活動を行う上で認識すべきリスクについて理解する。</li> <li>2. 行政、企業、医療機関等が災害前に実施すべき防災・減災の方法や災害対応に関する理論や技術を修得する。</li> </ol> <p>■授業計画</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1 ガイダンス/リスクマネジメントの必要性</td> <td>湯浅 恭史、野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>2 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み</td> <td>中野 晋</td> </tr> <tr> <td>3 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み</td> <td>平尾 智広</td> </tr> <tr> <td>4 行政における危機管理－政策的規制の変化対応－</td> <td>非常勤講師（香川県危機管理課）</td> </tr> <tr> <td>5 行政における災害対応体制と情報共有戦略</td> <td>非常勤講師（徳島県危機管理政策課）</td> </tr> <tr> <td>6 応急・復旧対応の内容と方法</td> <td>梶谷 義雄</td> </tr> <tr> <td>7 復興プロセスの枠組みと復興支援施策</td> <td>梶谷 義雄</td> </tr> <tr> <td>8 社会福祉施設のリスクマネジメントとその枠組み</td> <td>金井 純子</td> </tr> <tr> <td>9 感染症に対するリスクマネジメント</td> <td>平尾 智広</td> </tr> <tr> <td>10 総合討論1</td> <td>湯浅 恭史、藤澤 一仁、 野本 粹浩、梶谷 義雄</td> </tr> <tr> <td>11 企業のリスクマネジメントとその枠組み</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>12 企業経営におけるリスクとその対応</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>13 事例からみるリスクマネジメントと危機管理</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>14 建設業、社会福祉施設におけるリスクマネジメントとBCP</td> <td>湯浅 恭史、金井 純子、 非常勤講師（建設会社、社会福祉施設などからの実務家）</td> </tr> <tr> <td>15 自然災害に対するリスクマネジメント</td> <td>藤目 浩二</td> </tr> <tr> <td>16 総合討論2</td> <td>湯浅 恭史、藤目 浩二、 野本 粹浩</td> </tr> </table>				1 ガイダンス/リスクマネジメントの必要性	湯浅 恭史、野本 粹浩	2 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み	中野 晋	3 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み	平尾 智広	4 行政における危機管理－政策的規制の変化対応－	非常勤講師（香川県危機管理課）	5 行政における災害対応体制と情報共有戦略	非常勤講師（徳島県危機管理政策課）	6 応急・復旧対応の内容と方法	梶谷 義雄	7 復興プロセスの枠組みと復興支援施策	梶谷 義雄	8 社会福祉施設のリスクマネジメントとその枠組み	金井 純子	9 感染症に対するリスクマネジメント	平尾 智広	10 総合討論1	湯浅 恭史、藤澤 一仁、 野本 粹浩、梶谷 義雄	11 企業のリスクマネジメントとその枠組み	湯浅 恭史	12 企業経営におけるリスクとその対応	湯浅 恭史	13 事例からみるリスクマネジメントと危機管理	湯浅 恭史	14 建設業、社会福祉施設におけるリスクマネジメントとBCP	湯浅 恭史、金井 純子、 非常勤講師（建設会社、社会福祉施設などからの実務家）	15 自然災害に対するリスクマネジメント	藤目 浩二	16 総合討論2	湯浅 恭史、藤目 浩二、 野本 粹浩
1 ガイダンス/リスクマネジメントの必要性	湯浅 恭史、野本 粹浩																																		
2 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み	中野 晋																																		
3 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み	平尾 智広																																		
4 行政における危機管理－政策的規制の変化対応－	非常勤講師（香川県危機管理課）																																		
5 行政における災害対応体制と情報共有戦略	非常勤講師（徳島県危機管理政策課）																																		
6 応急・復旧対応の内容と方法	梶谷 義雄																																		
7 復興プロセスの枠組みと復興支援施策	梶谷 義雄																																		
8 社会福祉施設のリスクマネジメントとその枠組み	金井 純子																																		
9 感染症に対するリスクマネジメント	平尾 智広																																		
10 総合討論1	湯浅 恭史、藤澤 一仁、 野本 粹浩、梶谷 義雄																																		
11 企業のリスクマネジメントとその枠組み	湯浅 恭史																																		
12 企業経営におけるリスクとその対応	湯浅 恭史																																		
13 事例からみるリスクマネジメントと危機管理	湯浅 恭史																																		
14 建設業、社会福祉施設におけるリスクマネジメントとBCP	湯浅 恭史、金井 純子、 非常勤講師（建設会社、社会福祉施設などからの実務家）																																		
15 自然災害に対するリスクマネジメント	藤目 浩二																																		
16 総合討論2	湯浅 恭史、藤目 浩二、 野本 粹浩																																		

## 行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群

科 目 名	事業継続計画（BCP）の策定と実践（2単位）																																		
担 当 教 員	湯浅恭史（徳島大学）、 磯打千雅子、野本粹浩（香川大学）他	開講曜日等	2年次 前期 月 16：20～17：50																																
授業概要及び授業計画																																			
<p>■授業の目的</p> <p>自治体の業務継続計画及び企業の事業継続計画の策定方法を理解し、自らBCPの策定ができる能力を修得する。</p> <p>■授業の概要</p> <p>BCPに関する基本的な考え方を詳述するとともに、自治体の業務継続計画と企業（医療機関を含む）の事業継続計画の策定方法について実務能力を持たせることを念頭に講述する。</p> <p>授業は、第1、3～16回は実務家教員を講師とする授業を、第5～16回は少人数によるグループディスカッションを実施する。</p> <p>■キーワード</p> <p>自治体防災、企業防災、災害医療、BCP</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自治体の業務継続計画の策定方法が理解できる。</li> <li>2. 企業の事業継続計画の策定方法が理解できる。</li> </ol> <p>■授業計画</p> <table border="0"> <tr> <td>1 ガイダンス/講義の進め方</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子</td> </tr> <tr> <td>2 地方自治体における事業継続</td> <td>中野 晋</td> </tr> <tr> <td>3 医療機関の事業継続（MCP）</td> <td>萩池 昌信</td> </tr> <tr> <td>4 修了生によるBCP事例紹介</td> <td>野本 粹浩、非常勤講師（修了生）</td> </tr> <tr> <td>5 事業継続戦略・対策の検討</td> <td>磯打千雅子</td> </tr> <tr> <td>6 外部環境と内部環境の理解</td> <td>磯打千雅子</td> </tr> <tr> <td>7 ビジネスインパクト分析</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>8 事業継続戦略・対策の検討と決定</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>9 教育・訓練</td> <td>磯打千雅子</td> </tr> <tr> <td>10 事前対策と見直し・改善</td> <td>湯浅 恭史</td> </tr> <tr> <td>11 演習の進め方/演習①</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子</td> </tr> <tr> <td>12 演習②</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>13 演習③</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>14 演習④</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>15 演習⑤</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩</td> </tr> <tr> <td>16 発表①</td> <td>湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩</td> </tr> </table>				1 ガイダンス/講義の進め方	湯浅 恭史・磯打千雅子	2 地方自治体における事業継続	中野 晋	3 医療機関の事業継続（MCP）	萩池 昌信	4 修了生によるBCP事例紹介	野本 粹浩、非常勤講師（修了生）	5 事業継続戦略・対策の検討	磯打千雅子	6 外部環境と内部環境の理解	磯打千雅子	7 ビジネスインパクト分析	湯浅 恭史	8 事業継続戦略・対策の検討と決定	湯浅 恭史	9 教育・訓練	磯打千雅子	10 事前対策と見直し・改善	湯浅 恭史	11 演習の進め方/演習①	湯浅 恭史・磯打千雅子	12 演習②	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩	13 演習③	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩	14 演習④	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩	15 演習⑤	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩	16 発表①	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩
1 ガイダンス/講義の進め方	湯浅 恭史・磯打千雅子																																		
2 地方自治体における事業継続	中野 晋																																		
3 医療機関の事業継続（MCP）	萩池 昌信																																		
4 修了生によるBCP事例紹介	野本 粹浩、非常勤講師（修了生）																																		
5 事業継続戦略・対策の検討	磯打千雅子																																		
6 外部環境と内部環境の理解	磯打千雅子																																		
7 ビジネスインパクト分析	湯浅 恭史																																		
8 事業継続戦略・対策の検討と決定	湯浅 恭史																																		
9 教育・訓練	磯打千雅子																																		
10 事前対策と見直し・改善	湯浅 恭史																																		
11 演習の進め方/演習①	湯浅 恭史・磯打千雅子																																		
12 演習②	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩																																		
13 演習③	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩																																		
14 演習④	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩																																		
15 演習⑤	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩																																		
16 発表①	湯浅 恭史・磯打千雅子・野本 粹浩																																		

## 実務演習科目

科 目 名	行政・企業防災・危機管理実務演習（1単位）		
担 当 教 員	長谷川修一（香川大学）、 上月康則（徳島大学）他	開講曜日等	2年次 後期 指導教員と相談
授業概要及び授業計画			
<p>■授業の目的</p> <p>行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を通して、実務能力を修得する。</p> <p>■授業の概要</p> <p>行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を担当教員の指導の下で実施し、実務能力を修得する。</p> <p>全ての授業は、実務家教員が講師に加わり、少人数によるグループディスカッションや実地での体験活動により実施する。</p> <p>■キーワード</p> <p>行政、企業防災、実務演習</p> <p>■到達目標</p> <p>行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を通して、実務能力を修得する。</p> <p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 実務演習目的の決定</li> <li>3 基礎調査①</li> <li>4 基礎調査②</li> <li>5 基礎調査③</li> <li>6 実務演習内容の概要計画</li> <li>7 実務演習内容の詳細計画</li> <li>8 中間発表</li> <li>9 実務演習①</li> <li>10 実務演習②</li> <li>11 実務演習③</li> <li>12 実務演習④</li> <li>13 実務演習⑤</li> <li>14 実務演習⑥</li> <li>15 実務演習⑦</li> <li>16 成果発表会</li> </ol>			

## 実務演習科目

科 目 名	救急救命・災害医療実務演習（1単位）		
担 当 教 員	平尾智広 萩池昌信（香川大学）他	開講曜日等	2年次 後期 指導教員と相談
授業概要及び授業計画			
<p>■授業の目的 災害・危機対応マネージャー（医療分野）として、職場や地域で実践できる行動力を養う。</p> <p>■授業の概要 自ら職場・地域の問題点を抽出し改善していくための手段や手順を学習する。 全ての授業は、実務家教員が講師に加わり、少人数によるグループディスカッションや実地での体験活動により実施する。</p> <p>■キーワード 問題解決能力、地域医療貢献、行動力・実践力</p> <p>■到達目標 1. 問題点の抽出ができる。 2. 問題点の解決を通して地域医療に貢献できる。</p> <p>■授業計画 1 オリエンテーション 2 実務演習目的の決定 3 基礎調査① 4 基礎調査② 5 基礎調査③ 6 実務演習内容の概要計画 7 実務演習内容の詳細計画 8 中間発表 9 実務演習① 10 実務演習② 11 実務演習③ 12 実務演習④ 13 実務演習⑤ 14 実務演習⑥ 15 実務演習⑦ 16 成果発表会</p>			

四国防災・危機管理プログラム

## 2022年度 履修の手引き

---

発行日 2022年1月6日

発行者 四国防災共同教育センター

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20 香川大学創造工学部内  
TEL 087-864-2539 FAX 087-864-2554

---